

神奈川歯科大学 理事長
鹿島 勇

Only one に インサイトする

はじめに

新年明けましておめでとうございます。

“Only one にインサイトする”とは、他が真似できない独創的でオリジナリティーの高い発見や洞察を、スピード感と決断力をもって確実に形に変えていくことを意味します。私達はこの考えを核として、横須賀本校から東京歯科衛生専門学校（TDH）までを結ぶ独自のプラットフォームをほぼ完成させることができました。成長戦略の柱であるこのフレーズは、未来化構想具現化のシンボルと言っても過言ではありません。

先の一手は後の百手に勝る

2025年4月、神奈川歯科大学同窓会韓国支部が発足しました。14年前、私達は韓国からの留学生受け入れを決断しました。募集はソウルの予備校から始まり、現地事務所の設置、高麗大学神奈川歯科大学進学コース、現地の新聞広告そして各地での大学説明会等、下地作りに奔走しました。

一方、当時の教授会では、言葉の壁や日本人学生との関係、臨床実習時の患者とのコミュニケーションそして日本における外国人歯科医師育成への疑問等、消極的意見を数えたらきりがありませんでした。韓国からは、これまでに134名が入学し、59名が卒業、現在55名が在籍しています。そして、多くの卒業生が母国で国家資格を取得し、開業医や勤務医として活躍しています。その彼等への信頼度の高さから、韓国では広報活動無しで十分な学生確保が可能となっています。

この景色を14年前からイメージしてきた私としては大変感慨深いものがあります。最近では、他大学も留学生の受け入れに動き出し、国もそれを推奨する時代となりました。正に“先の一手は後の百手に勝る”の実例と言えるでしょう。

アートから見た未来化構想

一般的にアートとは、美の追求やシンパシーの交流と思われています。しかし、その本質は問題を提起し、それを定義付けてその景色や情景をイメージすることにあります。

す。例えば、“30年後の本学はどうあるべきか”と提起します。次に“こうあるべき”と定義付け、未来の景色をイメージします。その時点から現在にバックキャストし、具現化のための構想を時系列でデザイン化します。そして、実際の形にするための手法の選択とそれらの組み合わせを試行錯誤しながら完成へと作業を進めていきます。

その時、定義付けと景色のイメージの間そしてデザイン化と手法の選択の間は、何度も行ったり来たりを繰り返します。それは、最大公約数での完成度を指すため、新しい発想の転換が次々と絶え間なく遂行されているからです。これらのプロセスを経て、景色は作品として形付けられていきます。もちろん提起や定義も関係なく、たどり着いて初めて見える景色もあります。それは、個と極みの世界での事象であり、映画「国宝」のラストシーンではそれが見事に表現されています。

本学の17年前の不祥事は、問題提起はしたものの定義付けや景色のイメージもなく、場当たりの手法のみが空回りした結果に過ぎません。アート思考とデザイン思考を原点としたこの考え方は、本学にとって法人、教育、附属病院、横浜クリニック、各サテライト運営そして研究領域に対しても普遍的と言えるでしょう。

C・Cプラン

C・Cプランの語源は、Constellation と Consortium の頭文字を組み合わせたものです。Constellationとは、本学の各教育連携校を点とし、それらを結んだ線を星座に例えたものです。一方、Consortiumとは、本学にない学部を有する単科大学や文系・理系の大学が、各々の強みを活かしながら、弱点を補完し合う新しい学知の集合体を意味します。

このプランの目的は、47都道府県内における教育連携校と種々の学部を有する仮想総合大学とを融合させた、新しい発想の教育体系の構築を目指すことにあります。

その背景には、止まらない18歳人口減、中・高等学校間の学生確保競争激化、グローバル化の加速、単科大学生き残りの模索、中・高・大学一貫教育へのシフト等が挙げられます。

私達はこのC・Cプランの中心的役割を担います。そして将来、本学の入学試験を段階的に撤廃していきます。

おわりに

昨年、叙勲（旭日中綬章）を受章いたしました。これまでの本学の茨の道を振り返った時、それは個人というよりも17年間走り続けてきた同志と共にいただいた榮譽と言えるでしょう。天皇陛下から直接お声掛けを賜った数分間を回想しながら、理事長として17回目の新年を迎えます。

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます



神奈川歯科大学 学長 櫻井 孝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
2026年は丙午の年となりますが、丙午は情熱と行動力を象徴する、大変縁起が良い干支だそうです。年頭に当たり、皆様益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、本学を取り巻く環境は、18歳人口の減少、歯学部人気の低迷、歯科医師国家試験の難化など、非常に厳しい時代が続いております。しかしながら、学生さん達の努力と教職員の熱意に支えられ、本学の歯科医師国家試験合格率は、この11年間にわたり一度も欠けることなく、全国歯学部平均合格率を上回る成績を維持しております。ここ暫く、全国私立歯学部の学生募集は非常に厳しい状況を呈していますが、一方で卒業生の求人倍率は13倍を超え、社会からのニーズは高まる一方で。このような歯科医療の現状と本学の強み是非ご承知おきいただき、本学へのご推薦につきまして、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



神奈川歯科大学短期大学 学長 井上大輔

昨年は神奈川歯科大学の仲間入りをさせていただき、実りある年になりました。さて、本年の干支の「丙午」は、古来より火の気が強く、災厄と結びつけられ、実際、1966年にはこの迷信の影響で出生数が前年より約30%（約46万人）も減少しました。私は自分を科学者の「端くれ」と思っているのですが、現代日本で迷信により産み控えが起きていたことに驚きを禁じ得ません。しかし占いや迷信でも、振り回されずに注意や警戒、生きる希望に繋がるなら、一つの知恵かもしれません。丙午の年は突破力に恵まれる年と言われるので、短期大学部の入学者数もV字回復の予感がします。良いことは素直に信じて、今年も前向きに行こうと思います。



神奈川歯科大学 副学長・大学院歯学研究科長 山本龍生

昨年は、日本人2名がノーベル賞を受賞し、日本の科学にとって大きな喜びとなりました。一方で、歯科界は歯科医療機関の地域偏在や人材不足といった深刻な課題に直面しています。これらを科学の力で解決することが求められています。幸い、人工知能の進歩をはじめ、歯科医療にも多様なイノベーションが生まれており、課題解決への道は開かれつつあります。大学院としては、次世代の歯科保健医療を担う高度な研究能力と豊かな学識を備え、地域社会と世界の歯科医療の発展に貢献できる人材の育成に一層努めてまいります。本年もご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



神奈川歯科大学附属病院 院長 井野 智

2018年施行の「働き方改革関連法案」は、労働者の健康を担保しつつ、業務の効率化で生産力向上・経済発展によって暮らしを豊かにしようとするものです。ところが、OECD加盟（38カ国）の中でも低レベルの日本の労働生産性の順位は、2018年（21位）から2022年（31位）へと急激に落ち込みました。業務効率化が進まないまま、単に労働時間の規制が独り歩きしたからだと思います。海外に行くのと改めて気が付く、丁寧でヒトやモノに優しい日本文化の強みを残しつつも、効率化を図る工夫は必要です。60年に一度の丙午の今年こそ、附属病院もダイナミックに実績を上げ、皆さんと共に果実を得たいと願っております。今年も宜しくお祈り致します。



神奈川歯科大学附属横浜クリニック 院長 木本克彦

新たな年度の幕開けにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。月日の経つのは誠に早いもので、私が横浜クリニックに赴任して以来、早くも三度目の新年を迎えることとなりました。おかげさまで、横浜クリニックは「横ばい力」を発揮し、安定的かつ堅調に推移しております。これもひとえに、患者様の健康と安全を第一に考え、誠実に職務を遂行しているスタッフ一同のたゆまぬ努力の賜物であり、この場をお借りして深く感謝申し上げます。本年度は、「BLUE FRONT SHIBAURA デンタルクリニック」が、東京ベイエリア・芝浦において4月の開院を目指し、鋭意準備を進めております。また、官民一体で進行しております、横浜クリニックが所在する鶴屋町エリアの再開発計画も、着実に具体化へと歩を進めております。本年も変化と発展に富む一年となることが予想されますが、引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



東京歯科衛生専門学校 校長 佐々木ひろみ

早いものでKDUへ仲間入りをして7回目の新年を迎えます。ここまで多くの方々を支えられてきたことを改めて感謝申し上げたいと思います。私事ですが、年末に還暦を迎える教え子のクラス会に顔を出しました。参加していた全員が、現役の歯科衛生士として働いていたことに驚きながらも嬉しさを感じました。皆、誰かのために尽くせるこの仕事のやりがいを感じている様子が伝わってきました。口腔健康管理を担う歯科衛生士の存在はなくてはならないものです。この担い手となる人材の育成を、本年も全力で取り組んでいく所存です。そして学生個々の努力に寄り添い、愛情を持って接していくことを忘れず、長く社会貢献できる歯科衛生士を育てていきたいと思っております。



“人間万事塞翁が馬” 法人事務局長 菅原光則

昨年10月に神奈川歯科大学同窓会50周年記念式典・祝賀会に出席させていただいた。素晴らしい記念式典・祝賀会であった。半世紀に渡り大学を支え続けていただいたことにこの場を借りて感謝申し上げます。私も奉職して40年になるが振り返ってみると色々な出来事があり様々なことを経験した。新聞の紙面を飾った事件も何回か経験し、反面、新しい建物の建設や専門学校の事業継承等にも携われた。未来予想が難しいこの時代、幸せなことが不幸に、不幸なことが幸せにいつ転じるかわからない。ピンチとチャンスは表裏一体、一喜一憂、右往左往しないで明確な目標を持ち着実に歩いていきたいと思っている。最後に今年の干支（午年）にちなんで「馬」を使った故事を紹介する。「人間万事塞翁が馬」どんなことが起きても前向きに楽しめる一年にしていきましょう。



神奈川歯科大学同窓会 会長 大館 満

謹賀新年 昨年、10月18日に本部同窓会創立50周年記念式典、祝賀会を無事挙げて安堵いたしております。お忙しい中、ご臨席を賜ったご来賓の皆様、開催にご協力をいただいた多くの方々心より感謝いたしております。特に小泉進次郎氏にご臨席を賜り素晴らしいご挨拶をいただきました。人を引き付ける魅力ある挨拶に感動いたしました。また、鹿島理事長のご講演ではご臨席を賜った多くの方から大学の危機を救った経営力へのアドバンテージと最新のITを使った講演に驚きの称賛をいただきました。式典の成功に大きなご支援をいただき、ありがとうございます。同窓会も変革の時期を迎えております。50周年式典を一つの区切りとして新しい同窓会の形を提案したいと考えています。今年の抱負は未来に向けた新しい同窓会の形に道筋を付けたいと思っています。



神奈川歯科大学短期大学部同窓会 会長 鈴木幸江

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は神奈川歯科大学短期大学部同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も皆様が健康で笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。短期大学部同窓会は、2026年に創立70周年を迎えます。この間様々な環境で活躍している同窓生は誇りであり励みでもあります。私たち同窓会は、卒業生同士のつながりをさらに深め、母校の発展に寄与できるよう、さまざまな交流の機会を設けてまいります。本年も変わらぬご支援とご参加をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

教育提携・包括連携協定

中学校・高等学校との教育提携

本学では、中・高・大一貫教育構想のもと、教育提携を推進しています。現在協定を結んでいる中学校・高等学校は16校です。双方の強みを生かしながら、より良い連携を築いてまいります。

神奈川歯科大学協定校一覧

【系属校】

学校名	締結日
緑ヶ丘女子中学・高等学校	2024年12月23日

【連携校】

学校名	締結日
三浦学苑高等学校	2019年10月 8日
湘南学院高等学校	2019年12月11日
横須賀学院高等学校	2021年 3月31日
関東学院六浦中学校・高等学校	2021年 6月10日
鹿島学園高等学校	2021年11月 9日
聖和学院中学校・高等学校	2022年 9月13日
櫻美学園高等学校 (旧：都城東高等学校)	2023年 4月13日
捜真女学校中学部・高等学部	2023年12月14日
湘南学園中学校高等学校	2025年 6月11日
西武学園文理中学・高等学校	2025年 6月18日
流通経済大学附属柏中学校・高等学校	2025年 8月18日
不二聖心女子学院中学校・高等学校	2025年 8月20日
成美学園高等學校	2025年 8月29日
中村中学校・高等学校	2025年10月 2日
江戸川学園取手中・高等学校	2025年12月16日

ビューティ&ウェルネス専門職大学との包括連携協定

2025年10月20日(月)、本学はビューティ&ウェルネス専門職大学との連携協定を締結しました。同大学は日本初の美と健康を学べる専門職大学として2023年4月に開学し、理論に裏打ちされた高度な技術をもつセラピストや「美」「健康」の領域を切り拓く人材を育成しています。

締結式では、学校法人ミスパリ学園の下村朱美理事長が「歯の健康は全身の健康を支えている。ミスインターナショナルに出場される方々の美しい歯並びを見ると、歯と美しさは繋がっているのだと思います。今回の連携により大切な歯の話を伺える貴重な教育の場になると同時に、互いに成長していけることを嬉しく思います」と述べられました。鹿島勇理事長は「中国における美人を表す言葉、明眸皓歯・朱唇皓歯・蛾眉皓歯・曼理皓歯と言われるように古来より美の中心は口元であった。美を表す『歯』と、ファッションやメイクも含めた『美道』を追求し、ミスパリ様との互惠関係を構築して参りたいと思います」と挨拶されました。

この連携協定を軸に多くの施策を実行し、双方にとって理想的な連携となるよう推進していきます。



探求する中高生の学会 「KDU STEAM FORUM 2025」開催

2025年8月20日(水)、「KDU STEAM FORUM 2025」を開催しました。このフォーラムは、中・高校生による課題探究や研究活動の発表・交流の場を提供することを目的として、本学および本学学会の共催により、今回初めて開催されたものです。

約100名の皆様にご参加いただき、中学生による22演題のポスター発表、榎木恵一教授による基調講演、校内見学のエクスカッションなど多彩なプログラムが展開されました。ポスター発表では活発な質疑応答や交流が行われ、新たな学びや気づきが生まれる貴重な機会となりました。



ミス・インターナショナル 各国代表 35名が本学を訪問



2025年11月18日(火)、ビューティ&ウェルネス専門職大学を運営しているミス・パリ・グループ様のご厚意により、ミス・インターナショナル各国代表35名の皆様が来校されました。

一人ひとりが気品に満ち、その立ち居振る舞いはまさに一流。常に笑顔絶やさず、親しみやすく接してくださる姿に、学生・教職員一同、深い感銘を受けました。

短い滞在時間ではありましたが、学内がこれまでにないほど華やき、心に残るひとときとなりました。このような貴重な機会を賜りましたミス・パリ・グループ会長の下村朱美様に、心より御礼申し上げます。

日本抗加齢医学会「最優秀演題賞」受賞報告

障害者歯科学分野 大学院2年 鄭 家安

2025年6月13日(金)～15日(日)に開催された第25回日本抗加齢医学会総会において「エビデンスに基づく未来型アンチエイジング口腔予防検査開発—唾液抗酸化能によるオーラルフレイル検査—」が最優秀演題賞を受賞いたしました。

本研究は、口腔の老化指標として注目される「オーラルフレイル」を、唾液抗酸化能により科学的に評価する新しい予防検査の開発を目指したものです。災害歯科学分野との共同研究として遂行され、研究成果の一部は酸化ストレス医学分野の国際的トップジャーナルであるFree Radical Biology and Medicine 514-519, 2025にも掲載されるなど、国内外から大きな注目を集めています。今回の受賞は、抗加齢医学における歯科領域の貢献を示す意義深い成果であり、今後の予防医療・健康長寿施策への応用が期待されます。

本研究をご指導いただきました小松知子教授をはじめ、李昌一教授、研究にご協力いただきましたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



日本矯正歯科学会「優秀演題賞」受賞報告

歯科矯正学分野 大学院4年 上田聖士郎

2025年9月29日(月)～10月1日(水)に開催された第84回日本矯正歯科学会学術大会において、「PAX3 遺伝子多型が三次元的鼻根形態に与える影響」と題した研究成果を発表し、優秀演題賞を受賞いたしました。本研究では、PAX3 遺伝子に存在する一塩基多型 (SNP: Single Nucleotide Polymorphism) と顔面形態との関係に注目しました。SNPとは、DNAの塩基配列の中で個人ごとにごくわずかに異なる部分のことで、人の体質や病気のなりやすさ、さらには顔立ちなどの個人差にも関係していることが知られています。今回の研究により、PAX3 遺伝子の SNP が健常者における鼻根部の突出度に影響を及ぼしていることが明らかになりました。今後、顔面形態に関わる遺伝的要因の解明が進むことで、将来的な顔貌予測など、矯正歯科治療における診断や治療計画立案への応用が期待されます。このような栄誉ある賞を頂戴し、大変光栄に存じます。日頃よりご指導を賜っております山口徹太郎教授をはじめ、研究にご協力いただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。



日本障害者歯科学会「最優秀演題賞」受賞報告

障害者歯科学分野 小池杏奈

2025年10月31日(金)～11月2日(日)に開催された第42回日本障害者歯科学会学術大会において「Down 症候群の認知機能と口腔機能の関連性」が最優秀演題賞を受賞いたしました。本研究は、Down 症候群の認知機能と口腔機能の関連性を検討し、口腔機能の維持・向上を目的とした早期からの支援を積極的に行うことが、発達期における認知機能の向上や成人期における早期低下を予防していくために重要であることのエビデンスを初めて示したものです。

本研究内容は、長崎大学小児科の近藤達郎先生をはじめ、日本大学・お茶の水女子大学・北海道医療大学など多分野の大学と、本学 小松知子教授および災害歯科学分野の李昌一教授との連携による「長崎スタディー」の長年の共同研究活動の一環として得られた成果です。本研究にご協力いただきました Down 症のある方とご家族の皆さまに心より感謝申し上げます。



横須賀地域研究等連絡協議会 公開研究フォーラム



2025年12月1日(月)に横須賀商工会議所において開催された横須賀地域研究等連絡協議会 公開研究フォーラムにおいて、教育学分野の板宮朋基教授が「バーチャル技術は命を救う—医療と防災への応用—」のタイトルで講演を行いました。この協議会には本学をはじめ海洋研究開発機構 (JAMSTEC) や防衛大学校に加えて NTT や日産自動車などの企業も含まれた19の研究機関が参加しています。各機関のポスター展示も行われ、本学は裸眼立体視ディスプレイを用いた高精細3D-CT立体モデルを展示し、好評を得ました。今後、防衛大学校等との交流が予定されています。

未来の夢が芽吹いた一日 ～キッズジョブよこすか 2025 開催～



2025年11月23日(日)、横須賀市PTA協議会主催の「キッズジョブよこすか2025」が本学で開催されました。横須賀市内の小学校高学年から中学生を対象に、「ホンモノのしごとを体験しよう!」をテーマに、約40の企業・団体が参加。自動車メーカー、プロサッカーチーム、消防士、銀行、税務署、大工など、多彩な職業体験が並び、地域一丸となって子供たちの成長を応援するイベントとなりました。本学からは、歯科医療・歯科衛生士・看護師・歯科技工士の4つの職業体験ブースを出展。インフルエンザの影響で参加者は当初の予定よりやや減少しましたが、来場した子供たちは目を輝かせながら体験に挑戦していました。初めて触れる器具に驚き、真剣に説明を聞き、仲間と笑い合いながら挑戦する姿は、まさに未来への希望そのもの。体験を終えた子供たちからは「楽しかった!」「もっとやってみよう!」といった声があがり、満面の笑顔が会場いっぱいになりました。

子供たちの笑顔が未来を照らす—本学はその夢を応援し続けます。

第58回 稲岡祭

歯科衛生学科 2年 牛尾結苺

第58回稲岡祭実行委員長を務めさせていただきました、牛尾結苺です。私事で大変恐縮ですが、これまでの人生で委員長を務めたのは今回が初めてでした。今までの私は人を支えることに専念していたので、今回自分の人生を大きく変えるチャンスをしていただき光栄でした。ここまで素敵な稲岡祭を作ることができたのは、実行委員をはじめとする学生の皆さま、そして先生方、なにより当日足を運んでくださった来場者の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。

今年度の稲岡祭のスローガンは「キラリ☆笑顔とまごころフルスロットル!!!」でした。思いやりをもった行動を取ることで、学生も来場者も笑顔が溢れるような幸せな空間を作ることができるようにという意味を込めてつけられました。スローガンの通り、今年度の実行委員はとても思いやりがある方ばかりでした。委員会の時も毎回雰囲気がよく、たくさんの意見が出たり、率先して「僕私が動きます!」と声をかけてくれる方が多かったので、会をスムーズに進められました。積極的に稲岡祭と向き合ってくくださったおかげで、過去最高に素晴らしい稲岡祭を作ることができたと思います。

そして、今年度はコロナ禍以降初めて芸能人を招聘しました。校内アンケートの結果からよしもと芸人のアインシュタインさん、マルセイユさん、ラニーノーズさんをお呼びしまし

た。芸人さんがステージに立っている時は、ステージの周りに人が溢れていて歓声が大きかったです。ネタ終了後には芸人さんとじゃんけんをし、勝った方はサイン入りの色紙が貰えるという素敵な企画もありました。芸人さんのおかげで学生も来場者の方も盛り上がることができ、私もすごく嬉しかったです。

さらに、無料スタンプラリーの開催も行われました。出店場所の6箇所スタンプ台を設置し、3色のスタンプを集めると歯ブラシと歯磨剤がもらえる企画でした。おかげさまでお子さまから大人の方までたくさんの方が参加してくださり、歯科大らしさを取り入れることが出来たのかなと思いました。

最後に、稲岡祭に来てくださった皆さん、本当にありがとうございました。稲岡祭当日を迎えるまで皆さんが来てくれるかは不安でいっぱいでした。喜ばしいことに天候にも恵まれ、たくさんの方で溢れ、ステージには歌や楽器、ダンスで魅了している学生がいて、ステージの周りにはそれを見ている人がいました。出店エリアでは、学生や保護者会の皆さんが頑張ってお販売している姿、学生におねだりをされて食べ物を買っている先生もいたりして、これまでの準備が報われたと感じました。色々な人が多方面で活躍しているところを見ることができて最高に幸せでした。ここまで頑張ってくくださった稲岡祭実行委員の皆さん、出店やステージを盛り上げてくださった学生の皆さん、サポートしてくくださった教職員の皆さん、本当にありがとうございました。そして何より来場してくださった多くのお客様に感謝申し上げます。

キラリ☆
笑顔とまごころ
フルスロットル!!!
58th INAOKA Fes



教学部だより

歯学部

第57回全日本歯科学生総合体育大会

第57回全日本歯科学生総合体育大会が2024年12月から2025年8月にかけて開催されました。今大会の総合優勝は日本大学歯学部、準優勝は東京歯科大学歯学部でした。本学は全29校中17位、部門別では柔道部が3位入賞を果たしました。また、冬期は競技スキー部、夏期は柔道部をはじめアーチェリー部・弓道部・陸上部・水泳部・女子バスケットボール部（合同チーム）・剣道部・空手道部・ゴルフ部が10部門31種目で1位～3位入賞しました。



短期大学部

2025年度 戴帽式

今年度の戴帽式は各学科の実習の日程に合わせ、歯科衛生学科は9月10日（水）、看護学科は11月22日（土）に挙行されました。戴帽生は実習を前に教員からナースキャップ（男子はチーフ）を授与され、自覚と責任を新たに全員で歯科衛生士・看護師を目指すべく誓いの詞を述べました。



歯科衛生学科「戴帽式」



看護学科「戴帽式」

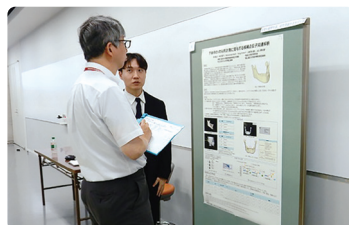
大学院だより

大学院中間発表を実施 研究進捗を多面的に評価

2025年9月25日（木）、大学院における中間発表が実施されました。この中間発表は、主に大学院3年生を対象として、学位論文作成に向けた研究活動の進捗状況を確認することを目的としています。発表はポスター形式で行われ、大学院生はこれまでの研究経過や成果、今後の計画について説明しました。

指導教員は、研究方法の妥当性やデータの解釈、研究全体の構成などについて多面的に評価を実施しました。評価項目には、研究の明確性・論理性・実証性・独創性に加え、研究倫理

の遵守も含まれています。指導教員からは口頭および文書によるフィードバックが提供され、大学院生にとって研究計画の改善や学位論文作成の方向性を見直す貴重な機会となりました。こうした取り組みにより、学位論文作成に向けた研究活動がより円滑かつ確実に進展することが期待されています。



大学院入試説明会を開催

2025年10月2日（木）に横須賀キャンパス、23日（木）に横浜キャンパスにおいて大学院入試説明会を実施しました。

横須賀キャンパスの会場では、初めに山本龍生研究科長より大学院全体に関する説明が行われ、その後、小児歯科学分野 仲井雪絵教授および口腔外科学分野 末永英之教授より各研究室の研究内容について説明が行われました。横浜キャンパス会場では高度先進口腔外科学分野 西久保周一教授、保存修復学分野 向井義晴教授が研究概要を紹介しました。

参加者は、それぞれの研究分野の紹介に熱心に耳を傾けていました。



TDH だより

在校生インタビュー動画をYouTubeにて配信中！
チャンネル登録よろしくお願ひします！



附属病院だより

第29回指導歯科医講習会



2025年11月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり、神奈川歯科大学附属病院7階フロアにおいて、第29回歯科医師臨床研修指導歯科医講習会(神奈川歯科大学FDワークショップ)が開催され、28名の歯科医師が受講しました。

講習会は7名を1グループとしたワークショップ形式で行われ、歯科医師臨床研修制度について等の講演を3題、「他己紹介」や「コンセンサスゲーム」を交えながら7つのセッションを2日間で約16時間受講しました。それぞれのグループでの作業や全体討議において、活発に意見交換が行われました。

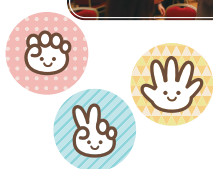
講習会に参加した歯科医師からは、グループの特性を把握して共同作業をやっていくことの難しさを感じたことや、自分が経験した研修医・学生時代のカリキュラムがこんなにも労力を費やし、考えられていたことに気づかされた等の感想をいただきました。



病診連携懇親会

2025年11月19日(水)、7年ぶりに病診連携懇親会をメルキュール横須賀にて開催しました。医科、歯科の医療関係機関を合わせ、65施設約90名の方々にご参加をいただき、活発なご意見・ご交流を賜り大変有意義な会となりました。また、余興の時間ではグループ対抗「じゃんけん大会」を開催し、大変盛り上がりました。

今後とも病診連携をより一層深め、地域医療の発展に寄与できますよう、教職員一同取り組んでまいります。



横浜クリニックだより

2025年度第2回防災避難訓練

2025年10月9日(木)に2025年度第2回防災避難訓練を行いました。今回は地震と、その後の津波を想定し、フロアごとに7Fへ避難する訓練を行いました。

また、新たに導入した緊急運搬救助具を実際に使用し、患者役の職員を7Fまで運搬いたしました。導入して間もないこともあり、装着に時間がかかるなど課題もいくつかありましたが、概ね想定した時間内に避難を行うことができました。



避難後は、7F大会議室にて、緊急運搬救助具の使用方法について動画で研修を行いました。いざという時に備え、多くの職員が使用できることが大切なため、継続して訓練を行う方針です。

より円滑な避難ができるよう役割や経路、他科への応援要請の仕方などを見直しながら、今後も定期的に訓練を行い、常に準備を怠らず、安全で安心な医療提供を目指していきます。



図書館だより

新規購読雑誌の紹介

2026年から新たに5誌の購読を開始します。電子ジャーナル3誌は統計調査でアクセス拒否件数(アクセスがあったが契約外の出版物のため閲覧できなかった件数)が多かったものを選定しました。和雑誌2誌については2025年9月~10月に行った継続雑誌アンケートで希望が出たものから選定しました。ぜひご利用ください。

新規購読雑誌

【電子】 International Orthodontics
【電子】 Journal of the World Federation of Orthodontists
【電子】 Pediatric Dental Journal
【冊子】 日経ドラッグインフォメーション
【冊子】 小児りハビリテーション

入試日程【歯学部】

※詳細は HP をご確認ください。

- ◇一般選抜
 - 1期A日程 2026年2月 1日(日) 出願期間 2026年1月 7日(水) ~1月23日(金)
 - 1期B日程 2026年2月 8日(日) 出願期間 2026年1月 7日(水) ~1月30日(金)

入学サポート制度!
 一般選抜1期A日程・B日程受験者のうち成績上位1位~15位には学費減免が適用されます!!

一般1期成績順位	対象者人数	減免額	入学手続時	後期(10月)	初年度合計
1位	1名	395万円	なし	なし	なし
2~3位	2名	200万円	127.5万円	67.5万円	195万円
4~15位	12名	100万円	177.5万円	117.5万円	295万円
通常の入学者	—	なし	227.5万円	167.5万円	395万円

- 2期 2026年2月21日(土) 出願期間 2026年1月31日(土) ~2月16日(月)
- 3期 2026年3月15日(日) 出願期間 2026年2月17日(火) ~3月 9日(月)

- ◇大学入学共通テスト利用
 - 1期A日程 2026年2月 1日(日) 出願期間 2026年1月 7日(水) ~1月23日(金)
 - 1期B日程 2026年2月 8日(日) 出願期間 2026年1月 7日(水) ~1月30日(金)
 - 2期 2026年2月21日(土) 出願期間 2026年1月31日(土) ~2月16日(月)
 - 3期 2026年3月15日(日) 出願期間 2026年2月17日(火) ~3月 9日(月)

- ◇卒業生推薦4期 2026年3月20日(金) 出願期間 2026年3月10日(火) ~3月16日(月)
 入学金(60万円)を全額免除

- ◇編入学3期 2026年3月20日(金) 出願期間 2026年3月10日(火) ~3月16日(月)
 2年次入学

- ◇特別入学試験 2026年3月20日(金) 出願期間 2026年3月10日(火) ~3月16日(月)

入試日程【短期大学部】

※詳細は HP をご確認ください。

- ◇学校推薦型選抜(指定校・公募)3期 2026年1月28日(水) 出願期間 2025年12月 9日(火) ~2026年1月21日(水)

- ◇社会人選抜
 - 5期 2026年1月28日(水) 出願期間 2025年12月 9日(火) ~2026年1月21日(水)
 - 6期 2026年2月20日(金) 出願期間 2026年 1月22日(木) ~2月16日(月)
 - 7期 2026年3月15日(日) 出願期間 2026年 2月17日(火) ~3月10日(火)

- ◇一般選抜・特待生選抜 2026年2月11日(水) 出願期間 2026年 1月22日(木) ~2月 3日(火)

- ◇総合型選抜
 - 4期 2026年2月20日(金) 出願期間 2025年12月 9日(火) ~2026年2月16日(月)
 - 5期 2026年3月15日(日) 出願期間 2026年 2月17日(火) ~3月10日(火)

入試日程【大学院】

※詳細は HP をご確認ください。



歯学研究科 定員: 18名

試験区分	2期 一般選抜、 学内推薦選抜(神奈川県立歯科大学卒)、 社会人特別選抜、外国人留学生選抜
試験日	2026年2月13日(金)
合格発表	2026年2月20日(金)

- ◇2期 一般選抜、学内推薦選抜(神奈川県立歯科大学卒)、
 社会人特別選抜、外国人留学生選抜
 2026年2月13日(金) 出願期間 2025年12月17日(水)~2026年1月26日(月)

オープンキャンパス開催日程

歯学部	短期大学部
日程	日程
3月22日(日)	3月8日(日)

※13:00~15:00【事前予約制】
 ※詳細は HP をご確認ください。

「業績集のPDF版公開」

「業績集2024.4-2025.3」のPDF版を公開しました。研究業績WEB版サイト内にリンクがありますので、アクセスしてご利用ください。下記QRコードからもご覧いただけます。

- 研究業績WEB版サイト
 URL: <https://kdulib.net/searchform.php>
- 業績集2024.4-2025.3(PDF版)
 URL: <https://kdulib.net/pdf/gyoseki202404.pdf>



神奈川県立歯科大学 歯学部
 神奈川県立歯科大学 短期大学部
 神奈川県立歯科大学 大学院

入試係 ☎ 046-822-9580
 入試係 ☎ 046-822-8826